第５６９回　大会レポート

平成２５年６月４日（火）天候：晴れ
【 会 場 】白浜　堅田漁協
レポート　藤阪

普段は土日に参加していますが、近況釣果の出ている堅田（山川副会長からも釣れているから）と言うことで、有給をとり始めて火曜大会に参加しました。前日の夕方（仕事を終え帰宅途中に）山川副会長より最終の迎えが 16:30 との事で土を多めに持ってくるよう連絡が入り、帰宅後慌ただしく仕度を整え 22:00 頃出発し金物さん宅に向かう。

22:30 頃、金物さんを乗せ堅田に向かい、1:00 頃堅田に到着する。どちらか早く付いた方が抽選の札を確保する事になっていたので札を５枚（6～10）確保、近況つれている筏はおそらく取られるかなと思いつつ駐車場で仮眠をとる。4:00 前に山川副会長のグループが到着し抽選（筏の申し込み準を決める）予想通り釣果の出ている 22，17，18，１，２は早々に埋まってしまい６番を引いた山川副会長が 12、私は 13（12、13は移動したばかり）ダメ元で冒険する。金物さんは 5、田辺さんは 6、河野会長は 8 を選び 5:30 出船。

筏に乗り、仕度を整え、とりあえずボケを刺し棚取も兼ね第一投。当日の仕掛けは、ハリス２号、針はボケ専用の４号、錘１．５号で、しばらく様子を見るが反応が無い為ダンゴを練る。

オキアミ、アミを餡子にし数個投入し様子を見るが反応はいまいち、もう１本竿を準備し、青イソメでチョイ投げしほっておく。9:30 頃、手元の竿に集中していると捨て竿が大きく舞い込む、あわてて竿を持ち上って来たのは、36cm のキビレ、久しぶりのチヌ？に笑みがこぼれる、その後チョイ投げでガシラ、グレを追加するも手元の竿の反応はイマイチ、隣のマルゼでは、ボラ、チヌ、グレが順調に上がっている様子だがこちらの反応は相変わらずの状況で、たまにアタリが出ればチャリコ、グレとなかなか本命は来ない。

潮が動かないとだめかな？と思いながら、手返しを繰り返す。

12 号筏の山川副会長もキビレ１匹とのことで、巡回の船頭から状況を聞いたら昨日移動させたばかりの筏で、今日初めて人が乗ったとの情報を山川副会長から聞く。回りには（チヌが）居るから根気よくと激励を受け再び集中するも相変らずの状況、昼を過ぎたあたりから風が出はじめる（もろに前から）アタリが取りにくい。13:00 頃ようやく生簀のほうへ緩やかに潮が動き出し 2 ヒロほど送り込んだところで竿を持ち込むアタリに合わせると上がってきたのはヘダイ、同じパターンでヘダイを釣上げるもチヌは？風は収まる気配も無くマルゼの方は 14:30 に全員引き上げられた頃、後ろの筏では

山川副会長が竿を大きく曲げている。上がってきたのは鯔（丸太のような 80cm 超級）

相変らず風は正面から吹き続きあたりが取りにくいなと思いつつ、15:00 頃ようやくこちらにもやっとボラが回って来たのか？ダンゴをつつくアタリが出始めダンゴから割れた後少し送るとアタリがあり、あわせるグッと心地よい反応、小気味良い引き込みに慎重にやり取り、本日最長寸の 47.1ｃｍのチヌをタモに収める。

その後、ダンゴをつつくアタリが続き餌が出たところであたりが出始め、チヌ、ヘダイ、キビレを立て続けに釣上げる（これが入れ食い?）初めての経験に戸惑いつつも餌が尽きるまでアタリが止まらず。16:00 過ぎ、後ろ指を惹かれる思いで納竿とする。

贅沢にも今回は良い経験となり休みを取り参加した甲斐がありました。

皆様お疲れ様でした。

参加者：河野会長、山川副会長、田辺さん、金物さん、藤阪
　　　　計　５名

長寸　優勝：藤 阪　47.1cm
　　　　　　他:チヌ 42.5、37.6、36.2cm、キビレ 37.1、36.0cm ﾍﾀﾞｲ 35～45　７匹等
　　　２位：河野会長　47.0cm

匹数　優勝：山川副会長　44.8、36.2cm（共にキビレ）計２匹　他:ﾍﾀﾞｲ 35cm 等
　　　　同：金物さん　　34.0、31.0cm　計２匹　　他:ﾍﾀﾞｲ 38cm